

B) 前向き臨床研究の支援システム

現状2

- 診療録に記載されている内容を、EDCに入力してデータを電送し、直接データベースに登録
- 電子カルテシステムが利用されていても、人手でEDCにデータを入力しなおさなければならない。

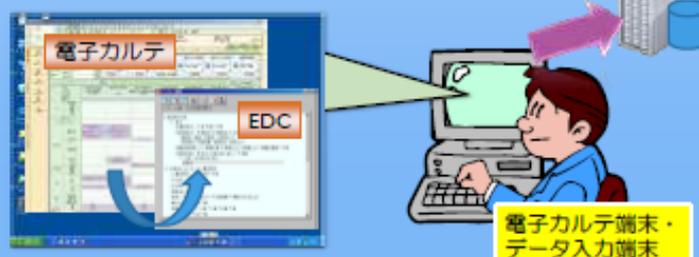
- 手間がかかる
- 転記ミスが生じる危険性がある



B) 前向き臨床研究の支援システム

目指すべき方法

- 電子カルテに入力されたデータから、臨床研究に必要なデータを抽出し、**転記作業をせずに**ケースカードが作成でき、**直接センターにデータが送信**できる仕組み



B) 前向き臨床研究の支援システム

解決方法

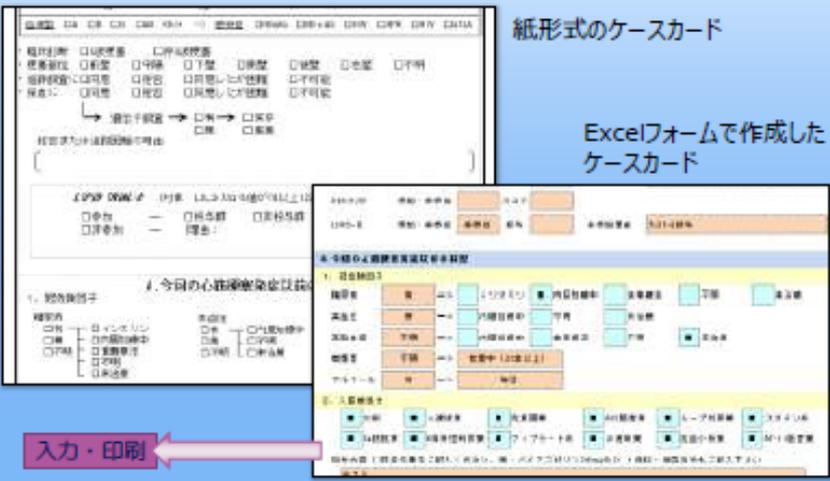
B-1. 仮想プリンタ技術を用いた方法

- 現状の多くのベンダーのシステムで、改造費をかけずに導入できる。
- 転記をなくす効果は、やや弱い。

B-2. 入力テンプレートによる方法

- 将来の理想的な方法。
- 現状では、特定のベンダーの最新バージョンのシステムで一部の機能が実現。

B-1) 仮想プリンタ技術を用いた方法



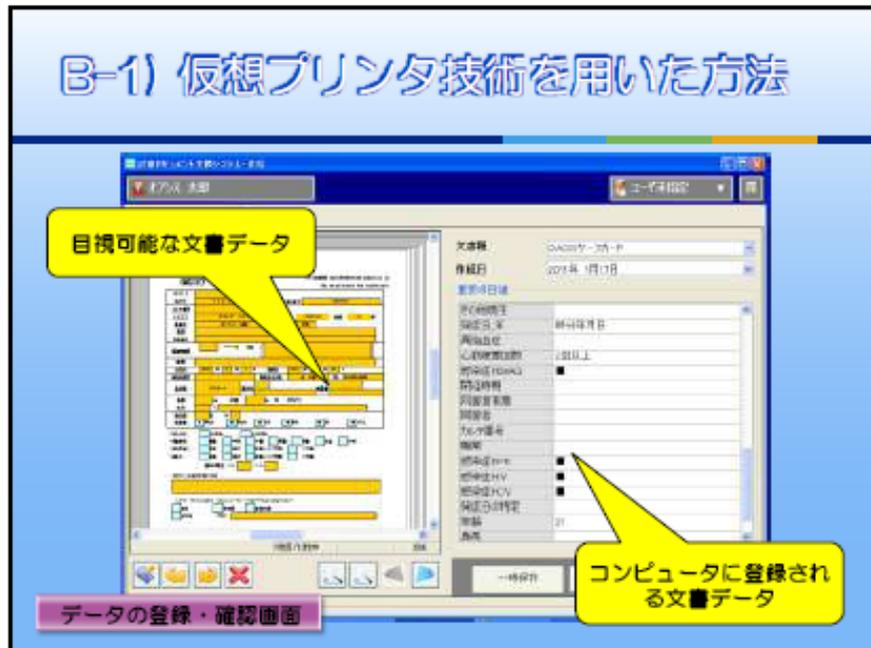
The image shows a comparison between two methods of data entry. On the left, a screenshot of a paper-based case card form is shown, with a pink arrow pointing to the '入力・印刷' (Input/Print) button. On the right, a screenshot of an Excel spreadsheet is shown, labeled 'Excelフォームで作成したケースカード' (Case card created with Excel form). The Excel form contains the same data as the paper form, including patient information and clinical observations.

紙形式のケースカード

Excelフォームで作成したケースカード

入力・印刷

B-1) 仮想プリンタ技術を用いた方法



B-1) 仮想プリンタ技術を用いた方法

